平成 20 年 11 月 4 日

各　　位

会 社 名 株式会社ダイドーリミテッド
代表者名　取締役社長　　安江　　惠
（コード番号 3205　東証・名証第一部）
問合せ先　経営管理室長　福羅　喜代志
（TEL. 03－3257 －5022 ）

業績予想の修正に関するお知らせ

当社の平成 21 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間(平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)につき、平成 20 年 8 月 4 日に発表いたしました当期の連結業績予想数値を下記のとおり修正いたします。

記

1. 第 2 四半期連結累計期間の業績予想数値の修正（平成 20 年 4 月 1 日　～　平成 20 年 9 月 30 日）

(1)連　結　　（金額の単位:百万円）

	売　上　高	営業利益	経常利益	当期純利益
前　回　発　表　予　想（A）	14,200	△400	0	140
今　回　修　正　予　想（B）	14,653	△545	△398	△299
増　　減　　額（B－A）	453	△145	△398	△439
増　　減　　率（%）	3.2	―	―	―
（ご参考） 前期実績（平成 19 年 9 月期）	15,348	△24	676	3,865
前　期　比　増　減　率（%）	△4.5	―	―	―

(決算における修正の主な理由)

売上高の増加は、株式会社ブルックス ブラザーズ ジャパンを主とするＯＥＭ（取引先ブランドによる製造卸）によるものです。

営業損失の増加は、衣料製品事業における在庫処分を優先した廉価販売により売上総利益が、株式会社ニューヨーカー85 百万円､株式会社パピージャルダン60 百万円減少したことによります。

経常損失は、上記理由に加え持分法適用会社株式会社ブルックス ブラザーズ ジャパンの出店拡大の為の費用増加および韓国販売会社への資金供給が円高・ウォン安による為替換算による評価損等の発生により持分法による投資損失となった為であります。

持分法による投資利益 96 百万円の計画が、117 百万円の損失。

なお、年間業績の予想につきましては、平成 20 年 11 月 6 日にお知らせいたします。

以　　上